

(2) 安全・安心に関する市民意識や取組み状況

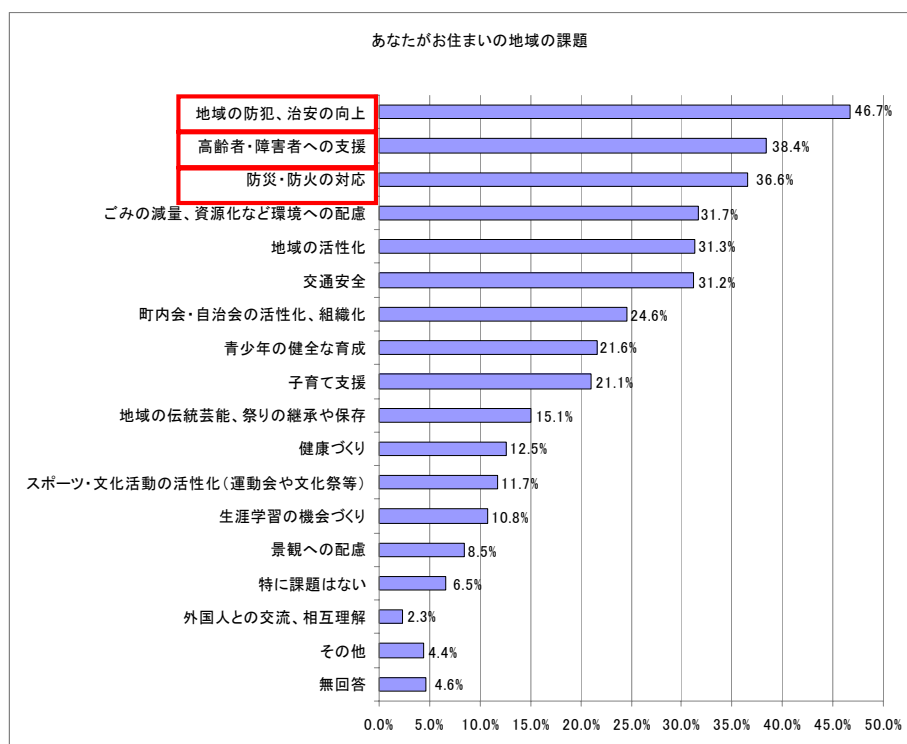
- ・ 市民アンケート※の結果、地域の課題として、防犯、高齢者等への支援、防災など安全・安心に関する要素が高く認識されており、今後の対応が課題となっている。
- ・ 自然災害発生時に「どのように行動すればよいかわからない」ことを不安とする回答が多く、事前の心構えや防災学習に関するニーズが高いと想定される。また、特に水害に対して不安を感じている傾向がある。
- ・ 防災訓練などの地域活動に対して、多くの市民は「参加したい」と考えているが、実際の参加経験とは乖離しており、今後は、参加意欲を具体的な行動につなげるための工夫が課題である。
- ・ 新潟市民は、平時の災害対策への取組みが全国的な傾向と比較してもやや低く、今後は防災対策への意識高揚や実際の取組みの促進が課題である。
- ・ 助け合える人の存在と、地域内での付き合いの多寡に関係性が見られており、いざというときに地域内で助け合うためには、地域内の活動が影響しうる可能性が示唆されている。

※ 本調査において新潟市民 8,000 人を対象に実施（回収数 3,451 通）

① 地域の課題

市民が住んでいる地域の課題について調査した結果、「地域の防犯・治安の向上」が最も多く、回答した市民全体の約半数が選択している。

次いで、「高齢者・障がい者への支援」「防災・防火の対応」となっており、上位に位置付けられる地域の課題からは、安全・安心な暮らしが地域の大きな課題となっている。

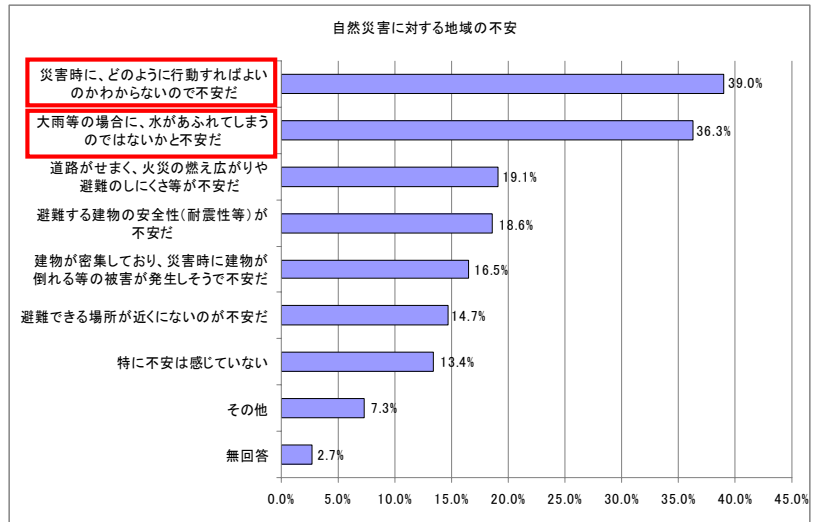


② 新潟市内で自然災害が発生した場合に不安と感ずること

アンケート結果から、自然災害が発生した場合に不安と感ずていることは、「災害時に行動すべき内容がわからない」とする回答が最も多く、事前の心構えや防災学習に対するニーズの高さが示唆されている。

次いで「大雨等の場合の被害」や「道路が狭く火災の広がりや避難しにくさ」、「避難場所の耐震性」などの災害に対する都市インフラの整備状況について不安と感ずている。

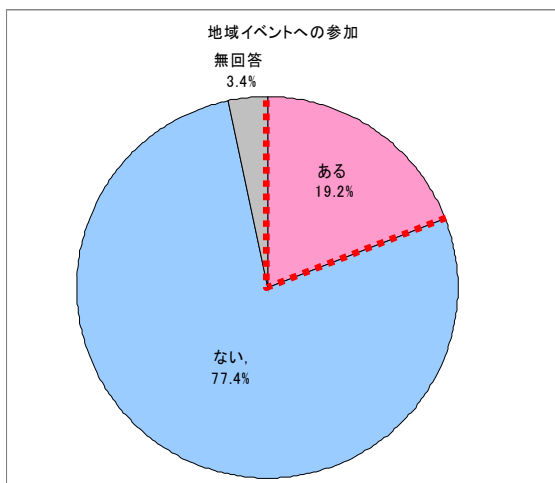
特に不安は感ずないとする意見は、13.4%（461人）となっている。



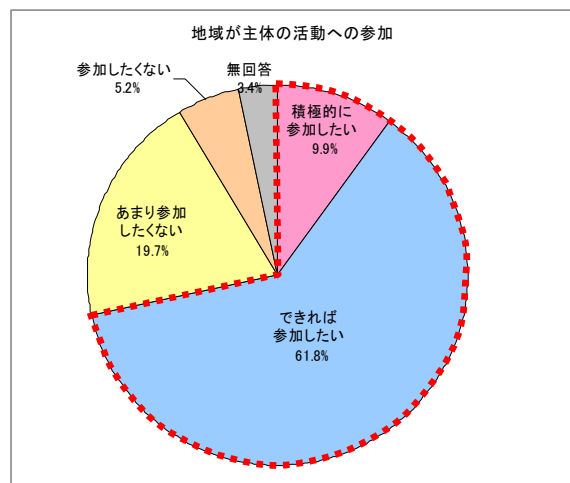
③ 防災・防犯に関するイベント等への参加状況

アンケート結果から、これまで実際に防災訓練等の地域イベントに参加したことがあると回答した市民は約20%となっている。

一方、今後、地域が主体となって安全安心なまちづくり活動を行う場合の参加意欲を確認すると、「積極的に参加したい」と「できれば参加したい」の合計が70%を超えており、高い参加意欲がある市民に対して、具体的な行動にどのようにつなげていくかに課題があるといえる。



地域イベントへの参加	回答数	回答率
ある	661	19.2%
ない	2,671	77.4%
無回答	119	3.4%
合計	3,451	100.0%



地域が主体の活動への参加	回答数	回答率
積極的に参加したい	341	9.9%
できれば参加したい	2,134	61.8%
あまり参加したくない	680	19.7%
参加したくない	179	5.2%
無回答	117	3.4%
合計	3,451	100.0%